

友だちとかかわりながら、イメージを表現できる子どもを目指して

「祭りだワッショイ！」 5 年 表現運動

『わたしたちの体育』 P.30～35

鳥取県日野郡日南町立日南小学校 教諭 西村 直記

1 はじめに

本単元は、子どもが様々な場面の様子や特徴をとらえたり、イメージしたりしながら即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることをねらいとする学習である。音楽に合わせてただ踊るだけではなく、子どもたち同士でかかわり合いながら題材に合った動きを見つけていく活動を通して、表現運動の技能を高めていくことが大切であると考えた。

そこで、『わたしたちの体育』の「やってみよう」のダンスウォームアップを行うことで、次の表現につながる動きを身に付けさせるとともに、心と体を解放できるようにした。また、活動①や活動②に掲載されている様々な動きの例を参考にさせることで、動きのイメージを膨らませるようにした。そして、それぞれの活動において『表現運動 CD』を活用することで、子どもたちの想像力をかきたて、様々な動きを引き出すことに役立てたいと考えた。

2 実践内容

(1) 単元名「祭りだワッショイ！」 『わたしたちの体育』 5 年 P.30～35

(2) 単元目標

- いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができるようにする。 【技能】
- 運動に進んで取り組み、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 【態度】
- 自分やグループの課題解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 【思考・判断】

(3) 単元計画（全 7 時間）

時	学習活動
1	○オリエンテーション ・学習のねらいやきまりについて知り、「やってみよう」を行う。
2	活動① 祭りのイメージをふくらませて、思いつくままにおどろう。
3	
4	
5	活動② 自分たちのイメージが伝わるように、友達と動きを工夫しておどろう。
6	
7	

(4) 『わたしたちの体育』・『表現運動 CD』の活用場面

① 「やってみよう」での活用 『わたしたちの体育』P.30

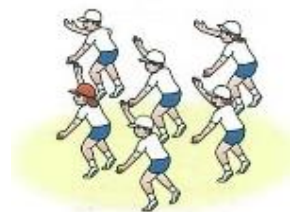
導入で「やってみよう」の活動を行うことで、恥ずかしさがなくなり、笑顔で活動ができた。また、祭りの表現につながる動きを見つけさせるために、『表現運動CD』を用いて祭りの音楽を流しながら、リズムに合わせて踊るようにした。



リーダーの動きをまねて



リズムに乗って



・リーダーの動きをまねて

『わたしたちの体育』5年 P.30



・リズムに乗って

『わたしたちの体育』5年 P.30

② 活動①での活用 『わたしたちの体育』P.30～33

活動①では、いろいろな祭りのイメージを膨らませて、様々な動きで表現することができるように『わたしたちの体育』(P.30～33)に掲載されている表現の例を活用した。

班ごとに例を見ながら踊りのイメージをもち、別の班と踊りを見せ合い、お互いにアドバイスをする時間を設けた。例を参考にさせることで踊る活動へとスムーズに進むことができた。また、子どもが「この絵ではもっと全身を大きく使っているよ。」などと『わたしたちの体育』を用いて具体的なアドバイスをすることができた。



③ 活動②での活用 『わたしたちの体育』P.32～34

活動②では、「はじめ—なか—おわり」のある話を作り、変化のある踊りを考えるようにした。その際に、『わたしたちの体育』(P.32～34)の内容を見ながら話の流れや踊りを考えさせるようにした。例を参考にすることでイメージが広がり、自分たちで新しい踊りを考えることができた。



『わたしたちの体育』5年 P.34

3 終わりに

『わたしたちの体育』を活用したことで、子どもは様々な動きのイメージをもつことができ、イメージを共有することによって、主体的にかかわり合う活動へとつなげることができた。また、『表現運動CD』と『わたしたちの体育』の内容に統一性があり、とても使いやすく、場の雰囲気盛り上げたり、よりイメージを膨らませたりすることに効果があった。今後も、体育学習の充実のために『わたしたちの体育』を活用したい。